



大雨時の登校について

大雨時の登校については、6月21日の安心メールにて、配信していますが、問い合わせがありましたので今一度共通理解を図っておきたいと思えます。

大雨等の登校時の対応については、学校一斉に行く臨時休校及び遅延登校の場合は、安心メールにて6時45分までに保護者の方へ連絡をいたします。メールが来ない場合は、保護者の判断で登校をお願いします。

27日(火)の登校時の大雨の日は、7時過ぎに大雨・落雷となりましたので、連絡できず、申し訳ありませんでした。

ご心配の場合、安全のために無理をされず遅れての登校、また、欠席なども考えられてください。その際は、欠席メールかタブレットの健康観察からご連絡をお願いします。

なお、下校に関しては、状況を見て学校で判断し、遅れて下校、一斉下校をさせる場合もあります。その際には安心メールでお知らせいたします。その際にも、本当に必要な連絡のために電話は使用しますので、ご家庭のご連絡は欠席メールなどの利用をお願いします。子供たちの安全のためにご理解とご協力をお願いします。

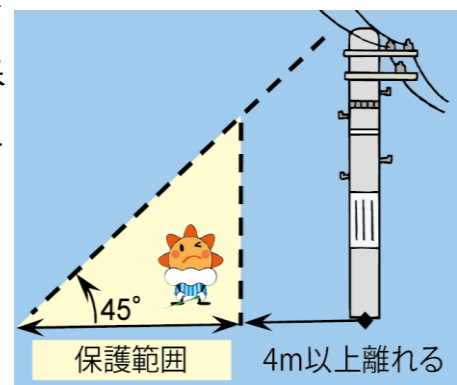


雷から身を守るために

27日(火)は、落雷も登校時に発生しました。雷は、雷雲の位置次第で、海面、平野、山岳などところを選ばずに落ちます。近くに高いものがあると、これを通して落ちる傾向があります。運動場などの開けた場所や、山頂や尾根などの高いところなどでは、人に落雷しやすくなるので、できるだけ早く安全な空間に避難して下さい。

鉄筋コンクリート建築、自動車、バス、列車の内部は比較的安全な空間です。また、木造建築の内部も基本的に安全ですが、全ての電気器具、天井・壁から1m以上離れば更に安全です。

近くに安全な空間が無い場合は、電柱、煙突、鉄塔、建築物などの高い物体のてっぺんを45度以上の角度で見上げる範囲で、その物体から4m以上離れたところ(保護範囲)に退避します。高い木の近くは危険ですから、最低でも木の全ての幹、枝、葉から2m以上は離れてください。姿勢を低くして、持ち物は体より高く突き出さないようにします。雷の活動が止み、20分以上経過してから安全な空間へ移動します。なお、保護範囲に退避していても、落雷地点の近くで座ったり寝ころんでいたりしていると、地面に接触している身体の部分に、しびれ、痛み、ヤケドが発生し、ときには歩けなくなることがあります。



(雷から身を守るには — 安全対策 Q&A — : 日本大気電気学会 から引用)